

## 地域と未来を考える探究の学び

とやま探究フォーラム

◇期 日：令和8年1月31日（土）

◇場 所：富山大学 黒田講堂・共通教育棟各教室

◇参加者：本校代表生徒18名、県内高校生、教職員 他

「とやま探究フォーラム」では、STEAM教育の推進や地域等との連携による課題解決をテーマに、探究的な活動を進めてきた学校の代表生徒が、プレゼンテーションやポスターセッションを行ってその成果を発表した。

開会式では、富山大学長をはじめとする来賓の挨拶の後、高岡高校によるオープニング発表が行われた。国勢調査の研究をもとに校内でアンケートを行い、行動様式・異文化接触等の背景要因がアジア諸国に対する印象の形成にどう影響するか検証した内容で、非常に興味深い発表だった。グローバル社会において求められる多角的な視点や異文化接触の重要性について改めて考える良い機会となった。

本校からは、2年SS発展探究の理数科学科数学班「うちの観光…自分で、ルート考えてません!!」、人文社会科学科英語班の「シン・英語教育」、2年普通科SS探究IIの「県庁前広場」、2年アメリカ海外研修の「The difference of meal style」の4班が参加した。

私の班は、県庁前公園の活性化を目的とした改善策について発表した。発表後の意見交換で、生徒同士で活発な議論が行われ、多くの気づきを得ることができた。

プレゼンテーションやポスターセッションの後には生徒交流会が行われ、他校の生徒と交流を深めることができた。特に印象に残ったのは、生徒一人ひとりが主体的に関わりながらフォーラム全体を作り上げていた点だ。本校生徒も参加する実行委員が運営の中心を担い、円滑な進行や分かりやすい説明を行っていた。今回の経験を通して、探究活動は成果を発信し共有することで、より深い学びにつながることを実感した。この学びを、今後の探究活動や学校生活に生かしていきたいと思う。

